

2016年1月5日

各位

日本特殊陶業株式会社

2016年 年頭所感

年初にあたり、本日、当社社長 尾堂真一から社員に対して「年頭所感」を伝達しました。内容は下記のとおりです。

記

新年明けましておめでとうございます。世界中の日本特殊陶業グループの皆さんそれぞれに、新たな決意と希望を持って新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、新しい年、2016年が始まりました。今年は私たちにとって大きな二つの節目を迎える年となります。

当社は、1936年に創立し、今年で80周年を迎えます。会社創立から80年間、当社は「良品主義」、「総員参加」をもとに、常に新しい価値の創造に取り組んできました。私たちはこれを引継ぎ、維持し、発展をしていかなければなりません。この節目の年を迎え、決意を新たに、新たな価値・真の価値を提供する企業として、次なる成長を目指していきましょう。

視点を未来へ移し、そこから2016年を振り返った時、この前後の数年間、当社の歴史の大きな転換点、最も大きく激しい変化に直面した期間の一つであったと位置づけられることと思います。その上で、重要な意味を持つものが中期経営計画の実践です。

皆さんが確固たる決意を持って新しい中期経営計画に取り組み、そしてやり切ることが、皆さんにとって、自らを変革し進化を実感できる成長体験となっていくことと信じています。これまでの先輩諸氏が築きあげてきた日本特殊陶業グループが、この先の未来へ向かう道を切り拓いていくことは私たちの責務です。グループ総力を挙げて、新たな次のステップへ進めていきたいと考えています。

私たちを取り巻く変化のうねりは早く、大きく、そして激しいものですが、時代を先取りし、目の前に広がるチャンスを最大限に生かすことで、一層の飛躍を成し遂げ、輝かしい歴史に新たな1ページを皆さんとともに刻んでいこうではありませんか。

グループのさらなる発展のため、グループ全員が目標を共有し、前向きに、明るく、個々の能力とグループの総合力がいかに発揮される企業風土を作り、そしてステークホルダーへ真の価値を提供する企業への進化を目指して、“グローバル”、“スピード”、“フェア”を合言葉に、ともに力強く進んでいきましょう。

以上をもって、新年を迎えての年頭挨拶とさせていただきます。

■日本特殊陶業株式会社について

当社は、1936年に創業し、名古屋市に本社を構える総合セラミックスメーカーです。内燃機関におけるスパークプラグ、排気酸素センサにおいては、世界トップシェアを有し、また、半導体部品におけるパッケージ、機械工具、医療用に用いられるバイオセラミックス、産業用セラミックスなど幅広いラインアップを提供しております。世界中に販売・製造拠点を有し、13,000名を超える従業員が世界の皆さまに新たな価値を提供できるよう取り組んでいます。現在は、持続可能な社会における環境エネルギー、次世代自動車、医療などの製品開発にも取り組んでおります。今後も、「ナンバーワンかつオンリーワンのものづくり」を目指し、変革と挑戦を続けてまいります。

詳細は、当社 Web サイトをご覧ください。

<http://www.ngkntk.co.jp/>

以上

■お問い合わせ先

広報室 抱井

電話:052-872-5896